

えべつ 市議会だより

平成19年11月1日発行

No.91

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話011(381)1051

編集 市議会報編集委員会

印刷 株式会社須田製版



～ WEえべつ祭り ～

主な内容

- ◇第3回定例会の概要…………… 2～3
- ◇一般質問…………… 4～7
- ◇決算特別委員会等…………… 8

水道・下水道・病院事業会計決算を認定

平成19年 第3回 定例会

第3回定例会は9月5日から9月26日まで22日間の会期で開かれました。地区計画区域内建築物等の制限に関する条例の一部改正などの議案12件、水道・下水道・病院の各事業会計決算の認定3件、意見書案1件、請願1件、陳情1件、報告5件を議了し、一般会計・各特別会計の決算の認定5件は閉会中の継続審査となっています。一般質問は12日から14日までの3日間行われ、11名の議員が市政全般にわたって見解をたしました。

議案等の主な内容と決算特別委員会における審議の内容をお知らせします。

条例

◎地区計画区域内建築物等の制限に関する条例の一部改正

都市計画決定手続を進めている上江別高台地区を新たに市街化区域に編入するため、地区整備計画区域に指定するほか、既存建築物の適切な改修や維持管理等を目的とした建築基準法の一部改正に伴い、既存建築物に対する制限規定を改めるものです。

◎公共下水道条例の一部改正
下水道の敷地等に設けられている物件に係る占用料について、日本郵政公社の民営化に伴い、減免規定から郵政事業を削除するものです。

◎都市計画税条例の一部改正
日本郵政公社の民営化により、事業を引き継ぐ各団体が所有する固定資産について、都市計画税の課税標準に係る規定の整理を行うものです。

◎市長の資産等の公開に関する条例の一部改正
郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に伴い、字句の削除など所要の改正を行うものです。

行うものです。

◎火災予防条例の一部改正
建築物の安全性確保に係る建築基準法施行令の改正に伴い、引用している条項の整理を行うものです。

一般議案

◎財産の減額貸付
江別駅周辺地区活性化のための再開発事業を実施する特別目的会社に対して、市が所有する事業用地を平成19年12月1日から20年間、土地鑑定価格の半額で貸し付けるものです。

◎財産の取得
除排雪作業の強化を図るため、老朽化した除雪グレーダーに替え、新たに1台を購入するものです。



◎指定管理者の指定
大麻東地区センターの管理を行う指定管理者に大麻第二住区自治連合会を選定したことから、議会の議決を経て、平成19年11月1日から24年3月31日までの期間で指定しようとするものです。

人事

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
◇長内香氏(東野幌本町7番地の1)の新任に同意。

予算・決算

◎一般会計補正予算
国・道の補助負担金の確定に伴う措置のほか、緊急を要するものへの措置などにより6億5千218万円を増額し、予算総額は、390億6千379万円になりました。

◎国民健康保険特別会計補正予算
後期高齢者医療制度移行に伴う電算システム改修費として3千970万円を追加し、予算総額は、123億3千170万円になりました。

◎介護保険特別会計補正予算
決算に基づく国費等の返還金のほか、決算剰余金を基金に積み立てるため1億1千256万5千円を追加し、予算総額は、57億3千456万5千円になりました。

◎平成18年度水道・下水道・病院各事業会計の決算認定
水道事業会計及び下水道事業会計は全員一致で、病院事業会計は多数で、いずれも認定されました。決算特別委員会における審査経過などは、8ページをご覧ください。



一般会計補正予算の概要

事業内容	補正額(千円)
寄附に伴う障がい児デイサービス訓練器具購入費の追加	500
生活保護費国庫負担金確定に伴う精算償還金	69,388
商工業近代化資金融資の件数増に伴う原資の追加	94,110
江別駅前再開発事業に係る建設補助金、商業・業務棟借上げ家賃及び駐輪場等再整備工事費	441,397
後期高齢者医療制度移行に伴う電算システム改修に係る国保特別会計繰出金の追加	36,700
後期高齢者医療制度移行に伴う電算システム改修経費の追加	7,900
保育所運営費国庫負担金確定に伴う精算償還金	2,185
補正総額	652,180

報告

◎専決処分

交通事故による物的損害の賠償について、相手方との示談が成立した旨報告されました。

求めることについて
江別市精神障害者の交通費助成を求める会
代表 岩佐哲夫氏

■趣旨採択となった陳情

◎障害者自立支援法のさらなる改善を求める意見書を国に提出することを求めることについて

江別市精神障害回復者クラブ 江別空色クラブ
会長 土屋晴治氏ほか1団体

請願・陳情

■不採択となった請願
◎精神障害者の交通費助成を

意見書

次の意見書を国に提出しました。

◎精神障がい者の交通費助成に関する意見書

国は、障がい者の自立を支援する観点から、平成18年4月に障害者自立支援法を施行し、これまで障がいの種類ごとに異なる法律に基づいて提供されてきた福祉サービス、公費負担医療等について、共通の制度の下で一元的に提供する仕組みを創設しました。しかし、精神障がい者については、身体及び知的障がい者と比べると交通費助成制度が不十分であると考えます。精神障がい者が地域社会で生活し、就労支援施設などに通所しての訓練や地域の行事に参加することは、自立と社会復帰に必要不可欠なことです。また、精神障がい者の多くは経済的弱者であり、定期的に医療機関で受診することが必要であることから、精神障がい者への交通費助成について、身体及び知的障がい者に対する交通費助成と同様に適用し、自立のための基盤を整備するよう国に要望しました。

先進地行政調査

各常任委員会では、10月9日から11日まで、それぞれの所管にかかわる全国の先進行政施策について調査を行いました。調査市及び調査項目は次のとおりです。

総務文教常任委員会

- ◇兵庫県伊丹市 教育ビジョンについて
- ことば文化都市特区について
- ◇兵庫県明石市 行政評価委員会について
- ◇兵庫県神戸市 人と防災未来センターについて



生活福祉常任委員会

- ◇埼玉県坂戸市 環境学館いずみについてほか
- ◇東京都日野市 高齢者見守り支援ネットワークについて
- ◇東京都青梅市 市立総合病院について



経済建設常任委員会

- ◇大阪府泉佐野市 地域住宅計画及び未納水道料金等の収納委託について
- ◇兵庫県尼崎市 企業立地について
- ◇滋賀県長浜市 商店街の活性化について



一般質問

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、2項目を選び、要約して掲載しています。

はやし
林 かづき 議員

環境・平和・市民の会

江別振興公社の役員

問 株式会社江別振興公社の取締役として、公務員である市職員が役員を兼ねているが、その法的根拠は何か。

答 公社の役員は12名で、このうち、市職員7名が取締役として兼務している。市職員の公社への事務従事



については、当市行政の運営上必要と認められるため、江別市職員の職務に専念する義務の特例に関する規則に該当し、市長が許可している。

なお、市職員は全員が無報酬であることから、地方公務員法の営利企業等の従事制限の規定には抵触しない。

江別振興公社の方向性

問 公社の主たる事業は、平成21年度までは公民館等の指定管理者として行っているが、今後どのように考えているのか。

答 指定管理者制度の委託期間は原則4年間としており、平成21年度で委託期間が終了する。その時点で改めて指定管理者の選定手続を行うため、22年度以降は不透明である。公社は指定管理者として、利用者サービスの向上に努め、適切な管理運営を図っていることから、引き続き市民の生活文化の向上に寄与するとともに、新たな事業に取り組みことを期待している。

このほかに、振興公社の事業目的の変更、市立病院の医師確保及び産科の再開などについて質問がありました。

さかした ひろゆき
坂下 博幸 議員

公明党

神経芽細胞腫検査

問 小児がん対策として神経芽細胞腫検査のために、札幌市との協力関係や民間機関への受入れを調整していくべきではないか。

答 同検査は、国の休止決定を受け、北海道においても平成16年に休止している。札幌市では国の治療研究事業として実施しているが、他市町村からの受入れは難しいとの見解である。

なお、個人的に医療機関での検査は可能であるが、当局としては、国や道において休止し、研究段階にある現状での検査の導入は難しく、今後の医学的な評価結果を注視していきたい。

新生児の血液検査

問 子供の成長のサポート体

制を強化すべきと考えるが、現行の血液検査に加えて、脳症等を防止するために20種類の血液検査を実施できないか。
答 現在、北海道の委託を受けて北海道薬剤師会公衆衛生検査センターが、6項目の血液検査を実施しているが、検査項目を増やすためには、新たな機器の購入が必要であり、現状では難しいとの回答であった。

現段階では、市単独で実施することは難しく、北海道市長会等を通じて、国や道に対し、検査体制の整備と実施について要望していきたい。

このほかに、妊婦の立場に立った広報活動について質問がありました。

たかま せんいつ
高間 専逸 議員

新世クラブ

石狩川の中州対策

問 石狩川と千歳川の合流点の右岸に、渇水期になると中州が出現するが、工事計画はあるのか。

答 石狩川の中州の状態については、石狩川開発建設部と協議してきており、渇水時に

一時中州が出現するが、洪水の流下時にも支障がないとのことであり、必要に応じて積状況等の調査を実施していくと伺っている。



災害時要援護者名簿

問 国は災害時要援護者名簿と安否確認等の支援計画を作成するよう求めているが、今後どう対応していくのか。

答 名簿作成については、個人情報保護と防災とのかかわりの中で、地域の実情に即した実効性のある枠組みを整備する必要があり、援護対象者の把握や情報保護の手法など

について、福祉団体や自治会などの関係機関と協議を進めていく計画である。

また、個人の支援プランについても、地域と調整し、準備ができたところから策定していきたいと考えている。

このほかに、母町の特殊堤、平成20年度予算編成の基本指針、いじめなどについて質問がありました。

もりよし
森好
いさむ
勇 議員

日本共産党議員団

市立病院への財政支援

問 公的病院としての使命を市民に理解してもらい、一般会計からの繰出基準の見直しを検討してはどうか。

答 一般会計からの繰出基準については、地方公営企業法の関係規定等に基づき、これまでも病院会計の状況に応じた見直しや対策を取ってきた。

まずは、病院の自主的な努力を基本とするが、平成18年度決算において不良債務が発生し、19年度もその拡大が見込まれるため、必要な措置について検討していかなければならぬと考えている。

8丁目通りの拡幅

問 8丁目通りの拡幅については、整備計画に対するソフト面への議論が不十分であり、住民との協働で検討すべきではないか。

答 8丁目通りを中心とした野幌駅周辺の活性化を図るために、地元の事業者や地区住民の方などで構成される協議会等において活性化計画の策定を協働で進めている。

安心して歩いて暮らせるまちに向け、歩道の拡幅を主体としているが、地元と行政が協力して地域の魅力を向上させるソフトとハードの両面の取り組みを実践し、地域の活性化につなげていきたい。

このほかに、市民参加の病院運営、江別の顔づくり事業、医療・福祉行政などについて質問がありました。



すわべ
諏訪部
ようこ
容子 議員
民主の会

病児・病後児保育

問 病院の信頼回復のためにも、市民ニーズの高い病児・病後児保育を小児科の医師が充実している市立病院で実施できないか。

答 現在の市立病院の課題は、一日も早く市民が求める医療環境を整備することであり、経営的基盤の回復が急務であることから、市立病院単独での実施は難しい。

なお、病後児などの保育については、専門職員の確保などの課題もあり、他市町村の実施状況等を調査し、どのような実施形態が可能かを改めて検討していきたい。

大麻地区住環境活性化調査事業

問 高齢化が進んでいる大麻地区の住環境活性化調査事業に取り組むが、どのような成果を想定しているのか。

答 10月に調査研究会を立ち上げ、アンケート調査や空き家・空き地の実態調査などを

新規就農者への支援

問 農業従事者の減少や高齢化が進行する中で、新たな担い手の育成や確保は大きな課題であり、新規就農者に対して支援すべきではないか。

答 新規就農者や担い手育成の相談・支援は、当市も設立者である道央農業振興公社において、一元的に取り組んでいる。また、今年10月には、担い手育成や農業研修生の支援を目的に公社と近隣市とで酪農学園大学と地域総合交流協定を締結し、今後、更に新たな支援策を検討することとしており、これからの事業の成果に期待したい。

みやかわ
宮川
まさこ
正子 議員

公明党

小規模作業所への支援

問 小規模作業所は、障がい者にとって重要な役割を担っているが、どこからも補助がなく資金不足のため、一層充実した支援が必要ではないか。

答 法の適用を受けないすべての小規模作業所の実態把握は難しく、相談を受けた施設や個別に把握した施設については、障害者自立支援法の趣旨について説明するとともに、支援可能な諸制度がないかなどを関係機関と連携を取り、必要な助言等を行っている。



ほしば よしこ
干場 芳子 議員
 環境・平和・市民の会

ごみ処理

問 燃やせないごみとして収集した廃プラスチック系ごみを燃やしているが、どのように市民周知したのか。

答 環境クリーンセンターでは、燃やせないごみとして収集している廃プラスチックなどを破砕処理後に燃やせるごみとともにガス化溶融し、回収した熱で発電し、施設の運転などに活用している。

こうした処理の仕組みは、平成13年と14年に広報誌などで市民に周知したが、分別とのかかわりについてまでの説



明は、十分ではなかったと思っ
 っている。

学校給食の食器変更

問 食器の変更という子供たちにとつて重要な問題については、保護者に情報公開するべきではないか。

答 食器の変更は、給食センター内部の食器検討委員会で検討し、学校代表、PTA代表で構成される江別市学校給食会理事事に報告するとともに、各学校に周知したところである。

今後においては、食の教育や安全性が問われる時代であるため、なお一層、情報提供に努め、より安全・安心な給食を提供していきたい。

このほかに、子どもの健全育成サポートシステム、指定管理者制度、農業政策などについて質問がありました。

しみず なおゆき
清水 直幸 議員
 新世クラブ

学校給食の食材

問 中国産食材の危険性について報道されているが、中国



産に限らず生鮮食品や調味料、洗剤など、どのように調査・厳選されているのか。

答 今年度は二、三回程度、中国産のものを使用したか、納入業者において国の基準に適合するか検査して、安全を確認した上で使用している。

野菜は、できる限り地場産を使用し、調味料は添加物の少ないもの、洗剤は有害物質の検出がなく、分解性が良いものを使用している。

今後とも、情報収集に努め、安全性を確認し、良質な学校給食を提供していきたい。

みどり保育園の民営化

問 民営化への過渡的手段として、市と委託先の保育士が

協力して保育に携わっているが、進ちょく状況は。

答 本年4月から委託を開始し、現在、引継ぎ保育としてフォロワー保育を実施している。市としては、フォロワー保育期間などについての三者協議をPTAに提案しているが、応じていただけない状況にある。そのため、フォロワー保育説明会の資料などを保護者に配布し、理解を得るよう努めている。なお、今後については、アンケートや保育士の意見等を踏まえ、判断していきたいと考えている。

このほかに、大麻地区生活道路にかかわる区画整理、民間資金活用による公的施設の建設、救急車の全署配置などについて質問がありました。

さいとう さちこ
齊藤 佐知子 議員
 公明党

ブックスタート

問 子育て支援策として、大きな役割を果たしていると言われているブックスタートを

実施できないか。
答 ブックスタートは、絵本を通して自然な親子のコミュ

ニケーションの場となり、心安らぐ子育てにつながっていく効果があると言われている。この事業は保健師や図書館司書等の専門的な知識や経験も必要なことから、近隣の市の実施事例や効果などを検証し、実施の可能性も含め検討していきたい。



学校環境のバリアフリー

問 ユニバーサルデザインの視点を踏まえて、計画的に学校環境を整備していく必要があるのではないか。

答 学校施設は、教育活動の場であるとともに、災害発生時には避難所としての役割を担うほか、多目的に地域の方に利用されている状況にある。このことから、ユニバーサ

ルデザイナーの必要性は十分認識しており、その時々の状況や改修時に合わせて、玄関のスロープ化などの整備を進めてきている。

今後、多くの人にとつて使いやすい場となるように取り組んでいきたい。

このほかに、放課後子どもプラン、学校選択制について質問がありました。

おか ひでひこ
英彦 議員
無所属

新篠津村との合併

問 今年1月から合併協議会が開催されているが、合併についてどのような考えを持っているのか。

答 分権型社会においては、一定の人口規模や財政力が必要であり、その意味では合併は必要なものと認識しているが、市民の理解がなければならぬものと考えている。

現在、合併協議会では、様々な項目について協議しているが、双方のまちづくりの方向性が一致できることが重要であるため、慎重に議論していきたいと考えている。



連結決算への対応

問 今後予定される病院等を含めた連結決算では赤字も想定されるが、どう対応するのか。

答 江別市全体で見た財政収支は、樂觀視できる状況になりことは十分認識している。

市立病院においては、経営再建に向けて検討中であり、早い時期に議会や市民の方々に方向性を示し、病院独自の取り組みに加え、行政改革を引き続き実施するほか、行政評価システムに基づく施策貢献度等も十分に評価・検証し、全体の事務事業執行の中で対応していきたいと考えている。

問 北国において、雪対策は避けておれない課題であるが、各自治会排雪の現状と今後の対応について、どう考えているのか。

答 市街化調整区域の規制緩和については、農業の振興や地域環境の保全を阻害することも想定されるため、基本的には現行制度を維持することが必要と考えている。

今後、都市型農業の特性を生かしながら、多くの市民との交流によりさらなる活性化が図られるよう支援していきたい。

自治会排雪



みすみ よしあき
三角 芳明 議員
新世クラブ

市街化調整区域の規制緩和

問 農業振興と地域コミュニティのさらなる構築のために、市街化調整区域の規制緩和等の対応が取れないか。

答 市街化調整区域の規制緩和については、農業の振興や地域環境の保全を阻害することも想定されるため、基本的には現行制度を維持することが必要と考えている。

このほかに、合併の是非を問う住民投票、財政見直し、新総計後期基本計画・自治基本条例策定への市民参加などについて質問がありました。

答 昨年の自治会排雪は83自治会で、生活道路の7割弱を実施するまでとなっている。雪対策の充実には行政のみでは限界があり、市民の理解と協力が必要であることから、今後も地域と十分連携を図りながら、冬期間の快適な環境確保のため、自治会排雪の実施率の向上に向け、取り組んでいきたいと考えている。

このほかに、優良田園住宅構想、市営墓地などについて質問がありました。

議会の動き

〔8月〕

- 1日 議会運営委員会
- 23日 経済建設常任委員会
- 24日 総務文教常任委員会
- 生活福祉常任委員会
- 30日 議会運営委員会

〔9月〕

- 5日～26日 **第3回定例会**
- 6日 経済建設常任委員会
- 生活福祉常任委員会
- 10日 経済建設常任委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 生活福祉常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 12日～14日 一般質問
- 18日～20日 決算特別委員会
- 26日 議会運営委員会
- 決算特別委員会
- 議会報編集委員会

〔10月〕

- 4日 総務文教常任委員会
- 16日 議会報編集委員会
- 17日 生活福祉常任委員会
- 22日～30日 決算特別委員会

決算特別委員会

水道・下水道・病院の平成18年度事業会計決算は、定例会初日に10名で構成する決算特別委員会に付託され、水道・下水道事業では、今後の財政見通し、基本水量以下世帯の水道料金など、病院事業会計では、地方公営企業法の全部適用、市民に対する情報提供、患者相談窓口の充実などについて質疑を行い、慎重に審査を進めました。

以下、決算特別委員会での討論の概要をお知らせいたします。

討 論

水道・下水道事業会計

認定 水道事業、下水道事業とも、事業運営の効率化などの経費の節減に努め、当年度純利益を計上しているが、良質な水道水の安定供給に必要な体制を確保するとともに、高利率の企業債の計画的な借換えを要望する。

また、公共の福祉を増進するという公営企業の使命を基本に据え、安定的な事業運営

が行われることを期待する。

認定 水道事業では、計画的に事業が進められ、安全な水道水の供給に努めているとともに、効率的な事業運営が図られ、健全経営が維持されているが、給水人口の減少などを見据え、収入に見合った事業を進めていく必要がある。

下水道事業では、当年度純利益が計上されているものの、今後は企業債の償還や老朽施設の改修などの支出が増すことが予想されることから、一層の経営努力を期待する。

両事業のスリム化に努め、現行の料金体系を維持することを希望する。

病院事業会計

認定 医師の過重労働にかかわる問題は、医師の退職とその後の経営に大きな影響を与えたものであり、その結果として、市民が医療サービスを受けられなかったことを踏まえると、経営する立場にあった者は、対処が遅れたことを反省すべきである。

平成20年度からの連結決算を見据えた中で、消化器センターの設置による特色のある病院運営など、病院再建のための市長の努力に期待する。

認定 内科医師の退職などにより一部病棟の閉鎖に至ったことから収益が大幅に減少し、厳しい資金繰りの中での運営となった。

新病院建設以降、経営面に目を奪われ、医師の過重勤務という潜在的な面を見抜けなかったことは、反省しなければならぬ。

今後は、この結果をしんじに受け止め、市立病院あり方検討委員会からの提言と院内で協議された課題の検討結果について、着実に履行することを要望する。

認定 内科医師の不在から地域の中核病院としての役割を果たせず、市民に対して大きな不安を与えた。大幅な収益減により不良債務が発生しており、会社为例えれば倒産に相当する状態であることから、まず単年度収支の均衡を図るべきである。

市長・病院長をはじめとした職員一人ひとりが危機意識を持って経営健全化に向けて取り組み、市民から信頼される病院となることを期待する。

大きなテーマであったが、市長などの経営責任者が不安を抱える市民に対して、いち早く現状を説明すべきであったこと、また、患者への対応も不十分であったために市民の信頼を失ったことを指摘する。市全体で市立病院の再建に取り組みとともに、市民の信頼を得る努力を要望する。

平成18年度 各企業会計の決算状況

(単位：千円)

		収 入	支 出	差引収支額
水道事業	収益	2,450,378	2,188,970	261,408
	資本	67,399	1,076,568	△1,009,169
下水道事業	収益	3,067,965	2,813,868	254,097
	資本	1,248,976	2,673,285	△1,424,309
病院事業	収益	4,677,124	5,931,884	△1,254,760
	資本	591,710	734,820	△143,110

編集後記

北海道は、紅葉が進み秋深い季節となりました。江別市では、スポーツや文化芸術など様々なイベントが開催され、多くの市民が集い賑わっています。実りの秋、当地で収穫された農産物や江別小麦など、私たち市民の食と心を十分に満たしてくれることでしょうか。

さて、編集委員会では、江別市の現状をより分かりやすくお知らせするために、打ち合わせを重ねています。より一層市民の皆さんに身近に感じていただける市議会だよりを目指して、工夫を凝らした編集に努めたいと考えています。今後とも、ご愛読をお願いいたします。

